

|   |  |                  |                   |
|---|--|------------------|-------------------|
| 科目コード／科目名<br>(Course Code / Course Title) | DK144／環境社会論<br>(Environment and Society) |                  |                   |
| テーマ／サブタイトル等<br>(Theme / Subtitle)         | 社会問題と環境                                  |                  |                   |
| 担当者名<br>(Instructor)                      | 関 礼子(SEKI REIKO)                         |                  |                   |
| 学期<br>(Semester)                          | 秋学期(Fall Semester)                       | 単位<br>(Credit)   | 2単位(2 Credits)    |
| 科目ナンバリング<br>(Course Number)               | SOX2210                                  | 言語<br>(Language) | 日本語<br>(Japanese) |
| 備考<br>(Notes)                             |  |                  |                   |

#### 授業の目標 (Course Objectives)

「生ける環境」が抽象的・客観的なものとして理解されがちな現在を問い返ししながら、環境の社会的な理解について社会学の見地から理解する。

Students will acquire environmental and social understanding through sociology perspective.

#### 授業の内容 (Course Contents)

日本における環境社会学の考え方を理解する。また、近接諸分野の動向にも留意しながら、環境社会学の幅広いテーマを具体的な事例に即して紹介する。授業では映像を多用し、現場を理論にあてはめるのではなく、現場から理論をたちあげる方法論を重視する。

This course introduces the environmental sociology in Japan to students taking this course .

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 環境と社会の語り方
3. アイデンティティとしての環境：風景が映し出す人と社会
4. リスクの逆機能：誰が何をリスクと見なすのか
5. 「当たり前」が失われる—「当たり前」でなくなるスタンダード
6. 一方通行の「自然保護」と相互作用としての「自然保護」
7. ローカルであることとグローバルであること
8. 「暮らし」から描かれる自然の「遊び」
9. 資源とエネルギー：片利共生・相利共生からみえる地図
10. 空気を読む社会
11. 環境の近代を読み解く1
12. 環境の近代を読み解く2
13. 環境の近代を読み解く3
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

テキストの事前講読と要旨の作成、リアクションペーパーの提出、授業協力など。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%)/授業内課題(リアクションペーパー)および授業への参加(30%)  
聞くこと、読むこと、書くことを重視する。

#### テキスト (Textbooks)

1. 関礼子他、2009、『環境の社会学』、有斐閣

#### 参考文献 (Readings)

適宜指示する。

#### その他(HP等) (Others(e.g.HP))

#### 注意事項 (Notice)